

新春を迎えて

川越市長 川合善明



明けまして
おめでとーございます

市民の皆様におかれましては、健やかで輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

日ごろ、市政に対しまして格別なるご理解、ご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

昨年3月の東日本大震災で、大変多くの尊い人命が失われたことに対しまして、慎んで哀悼の意を表する

とともに、被災者の皆様、原発事故で避難生活を余儀なくされている皆様に対しまして、心からお見舞い申し上げます。また、市民の皆様から多大なるご支援を賜りましたことに、重ねて感謝申し上げます。

本年は、大正11年12月1日に埼玉県下初の市制を施行してから九十周年に当たります。この記念すべき年を市民の皆様とともに祝い、有意義な一年にしていきたいと考えております。

さて、第三次川越市総合計画の後期基本計画が昨年からスタートしておりますが、「ひと、まち、未来、みんなでつくる いきいき川越」という総合計画の将来都市像を実現するために、「小江戸かわごえ重点戦略」を設け、重点的に取り組む三つの戦略を掲げております。

まず「未来につながるひとづくり戦略」でございますが、民間保育所の建設補助などにより待機児童数の削減に努めたほか、子育て短期支援事業や児童虐待防止SOSセンターの

設置など、安心して子育てができる環境づくりを推進しております。また、子宮頸がん予防ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンなど、予防接種費用や医療費の助成を実施するとともに、生涯にわたる市民の皆様の健康づくりを推進しております。なお、「なぐわし公園温水利用型健康運動施設」につきましては、本年8月に完成する予定でございます。

次に「活力と魅力あふれるまちづくり戦略」でございますが、川越駅西口駅前広場の改修や都市計画道路、新河岸駅周辺整備などの都市基盤整備を積極的に進めるとともに、西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)につきましては、平成24年度中に建設工事に着手予定で、同26年度中の完成を目指しております。課題となっており、新斎場につきましても、建設予定地の選定を終了し、今後建設に向けた諸手続きを鋭意進めてまいります。

また、長引く景気の低迷やかつてない円高が進み、厳しい経済情勢が

続いておりますが、商店街の活性化対策、地域経済対策および雇用対策を推進してまいります。

「快適で安心できるくらしづくり戦略」では、昨年の東日本大震災という未曾有の災害と原発事故への対応などを踏まえ、防災対策はもとより、危機管理やエネルギー問題など、地域の安全と安心の確保に努めてまいります。更に、小中学校校舎の耐震化につきましては、平成24年度中に完了させるとともに、保育園園舎の耐震化につきましても取り組んでまいります。

本市にとりましても課題は多くございますが、市制施行九十周年を契機とし、市民の皆様にとつて、より良い、質の高い暮らしが実現できるように、改めて全力で取り組んでまいりますので、ご支援とご協力を今後とも賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。